

令和2年度 学校評価について（まとめ）

（A・よくあてはまる B・あてはまる C・あまりあてはまらない D・まったくあてはまらない E・わからない）について全体の評価を、%で割合を示しました。

教育目標・学校経営や地域との連携

本校は、「思いやりのある子」「深く考える子」「たくましい子」を教育目標に掲げ、人間尊重の精神を基盤に地域とともに進める特色ある教育活動を進めています。		
	評価項目	A B C D E
教育目標	1 学校は、教育目標の「思いやりのある子」を育てようとしている。	31.9 56.9 1.3 0.5 9.4
	2 学校は、教育目標の「深く考える子」を育てようとしている。	28.3 55.3 4.9 0.5 11.0
	3 学校は、教育目標の「たくましい子」を育てようとしている。	26.8 57.9 3.6 1.0 10.7
学校経営・地域との連携	4 学校は、学校便りや保護者会を通じて、教育目標や教育方針を保護者に分かりやすく伝えている。	37.1 53.2 4.7 0.8 4.2
	5 学校は、保護者・地域の願いに応える努力をしている。	33.5 53.5 3.1 0.5 9.4
	6 学校は、保護者や地域に学校を知ってもらうために、 日常の参観学校公開・授業参観を実施するなど、開かれた学校づくりに努めている。 ※今年度実施できず	
	7 学校は、教職員が協力して、学校運営に当たっている。	43.1 46.5 2.9 0.8 6.7
	8 学校は、保護者・地域社会へ適切な対応で連携を進めている。	37.1 55.1 2.1 0.0 5.7

教育活動・児童の様子

本校では、少人数指導や特別支援教育の趣旨を生かし、児童一人一人への適切な対応を通し、どの子にも確かな学力を身に付けさせるように努めています。児童が「心豊かな人間関係」を築けるよう、全教育活動を通じて、「認め合い、学び合い、高め合う子」の育成を図っています。		
	評価項目	A B C D E
児童の様子	9 児童は、学習に意欲的に取り組んでいる。	31.4 61.8 4.9 0.5 1.4
	10 児童は、地域行事に積極的に参加している。	24.7 46.0 16.4 2.3 10.6
教育活動	11 教員は、教材研究に努め、分かりやすい授業を展開している。	35.3 50.1 3.9 0.3 10.4
	12 教員は、児童が課題をつかみ、解決していくような授業の工夫をしている。	31.2 52.2 3.6 0.3 12.7
	13 教員は児童の様々な行動を見過ごさず、適切に指導している。	29.1 53.2 5.2 0.8 11.7
	14 教員は、年間を通した道徳指導の計画的な実施によって、児童の道徳的実践力を高めている。	27.5 53.2 4.9 0.3 14.1
	15 少人数学習は、個々の児童に応じた授業になっている。	32.7 48.8 4.9 0.3 13.3
	16 夏休みに行っているサポートデイは、児童の学力向上や生活向上（4組）への一助となっている。 ※今年度実施できず	
	17 心の問題のケアのために、スクールカウンセラーを十分活用している。	15.8 35.3 11.4 5.5 32.0
	18 職員は、礼儀正しく親切な対応をしている。	48.1 45.5 1.6 0.3 4.5

特色ある教育活動

本校では、地域とともに進める特色ある教育、人とのかかわりを深める教育を推進し、一層の充実を図っています。

- ①地域や家庭との交流の機会（運動発表会、音楽発表会等）
- ②学校の活動状況を発信し、外部評価を実施し、学校改善に努めます。
- ③学校ファミリー構想の活性化、充実を図ります。
- ④地域ネットワークである郷っ子ネットワーク機能の拡大・拡充を図り、児童・保護者の相談・支援体制を整え、特別な支援を必要とする人への対応ができるようにします。
- ⑤特別支援教育の理解に努め、充実した教育活動が展開できるようにします。（特別支援対象児童に対する教育並びに交流学习・副籍交流等）

観点		評価項目	A	B	C	D	E
特色ある教育活動	19	運動発表会や音楽発表会等、地域や家庭との交流の機会が生かされている。	47.8	44.4	4.7	2.6	0.5
	20	学校は、学校便りやホームページ等で活動状況を伝えるとともに、積極的に外部の意見を受け入れている。	26.5	50.4	7.0	14.8	1.3
	21	桐ヶ丘子ども憲章「明るいあいさつ・はきものそろえ・時間を守る」の実践が進んでいる。					
	22	学校は、スクールカウンセラーや教育相談を通し、児童・保護者の相談・支援体制を整え、支援を必要とする人への対応を進めている。	26.5	50.1	3.9	19.2	0.3
	23	特別支援を要する児童への教育や、交流学习、副籍交流を積極的に行い、児童一人一人に応じた指導をしている。	23.6	48.6	3.9	23.1	0.8

施設・設備

本校では、子供が安心して学校生活が過ごせるよう安全に配慮するとともに、学校の施設・設備を保護者や地域の人々に開放しています。

観点		評価項目	A	B	C	D	E
施設	24	校舎内外の教育環境が整備され、施設の安全が確保されている。	31.4	55.3	5.7	6.8	0.8
	25	施設・設備及び校庭の開放により、学校施設が利用されている。	30.6	55.3	4.7	8.9	0.5

昨年度と比較し、22項目のうち「A」「B」の増加が12項目、「C」「D」の減少が15項目ありました。「A」「B」の増加の項目については、「9.児童の学習意欲」で4.4ポイントup、「22.児童・保護者の相談支援体制」で7.2ポイントupなどの項目で大きな改善が見られました。「C」「D」の減少の項目については、「1.教育目標の『思いやりのある子』」で4.1ポイントdown、「3.教育目標の『たくましい子』」で3.6ポイントdown、「8.保護者・地域社会への適切な対応」で4.1ポイントdown、「20.学校便りやホームページ等で活動状況を伝える」で3.9ポイントdown、「24.校舎内外の教育環境の整備」で3.7ポイントdownなど大きな改善が見られました。学校アンケートの結果から、昨年度に引き続き、学校と家庭・地域が一体となって、子どもたちの教育が進められていることが分かりました。また、課題と考える項目について学校全体で取り組んで参ります。今後とも、本校の教育活動へご理解ご協力をお願いいたします。